

2007年7月吉日
丸善株式会社
東京都中央区日本橋3-9-2
代表取締役 小城武彦

日本の匠達が生み出した万年筆の新世界

新商品 有田焼万年筆 発売のご案内

【 The ARITA Collaborate Project メンバー 5社 】

企画・販売 丸善株式会社 / (有)佐賀ダンボール商会

製造・販売 セーラー万年筆株式会社

共同開発 香蘭社 / 源右衛門窯

丸善株式会社は、日本の伝統磁器である有田焼を軸材として使用した「有田焼万年筆」を2007年7月27日(金)、世界に先駆け販売いたします。400年の伝統を継承する有田焼の新しい試みを世界で初めて皆様にお披露目いたします。

有田焼と万年筆

400年の伝統を継承する有田焼。有田焼の伝統を継承し、有田焼の更なる発展と可能性を模索する為に新たな市場の開拓をはじめました。最初に手掛けたのは万華鏡でした。多方面に亘る技術の粋を集めた結果、高い評価をいただくことができました。そして更に次のステップとして、近年関心を集めている万年筆に注目し、有田焼の万年筆制作に挑戦することを思い立ちました。この発案に賛同し企画販売として加わった丸善株式会社の仲介により、有田焼窯元の「香蘭社」「源右衛門窯」と国内万年筆メーカーの「セーラー万年筆」とのコラボレーションが実現いたしました。この有田焼と万年筆の融合は、まさに日本の異なる匠の業の融合とも言え、互いに妥協を許さず試行錯誤を重ね、完成までに約2年という歳月を費やしました。このように誕生した「有田焼万年筆」は、硬く、白く、澄んだ透明感のある磁肌を持ち、重厚感高級感に溢れ、手に持った感触はまさに有田焼の真骨頂。滑らかな書き味はもちろん細部にまでこだわり抜いたつくりは、筆記具としてだけでなく、芸術品に値します。

丸善は、この有田焼万年筆を、好評を得ている蒔絵万年筆と双壁となる潜在性をもつ商品として育ててまいりたいと思っております。

7月27日(金)~8月2日(木)は、弊社・日本橋店にて新作発表会を開催しております。有田焼万年筆のほか、源右衛門窯より絵付け職人の実演、香蘭社より明治・大正・昭和3代の天皇に献上した柄を現代に復刻した品の展示・販売を行っております。

丸善は1885(明治18)年に日本ではじめて万年筆を輸入するなど、創業以来130年以上に亘って、品質の優れた文房具や雑貨をお客様に提供して参りました。現在、当社は高級筆記具や机上用品、ギフト用品を中心とした文房具店舗を全国で38店舗営業(書籍との複合店舗含む)しており、文房具専門店で唯一の全国展開を行っております。

本件に関するお問合せは以下までお願いいたします。

店舗事業部ステーションナリー企画部 齊藤(逸人)、真田

: 03-3273-1215 Fax: 03-3273-6192 e-mail: hayato.saito@maruzen.co.jp

【商品概要】

名称 有田焼万年筆（ありたやきまんねんひつ）

素材 ペン先……21金（中字） 蓋・胴……有田焼（磁器） 金属部分……24金メッキ仕上

本体サイズ……153mm 本体重量……約 35g

パッケージ オリジナル桐箱入り

セット内容 有田焼万年筆 本体 1本

ボトルインク（ブラックインク）一個

筆休め1個 筆包み1房

小冊子（説明書）1冊

	窯元	柄名称	価格（税込み）
	香蘭社	<small>そめさんすい</small> 染山水	157,500 円
	香蘭社	<small>こいまりらんぎく</small> 古伊万里蘭菊	157,500 円
	香蘭社	<small>せいかしゅらん</small> 青華春蘭	157,500 円
	源右衛門窯	<small>そめつけたこからくだみ</small> 染付草魚唐草濃	262,500 円
	源右衛門窯	<small>おうりょくさいかぶとからくさ</small> 黄緑彩兜唐草	262,500 円
	源右衛門窯	<small>こいまりふうろうかくさくらず</small> 古伊万里風桜閣桜図	262,500 円

軸材製作は有田焼の名窯「香蘭社」・「源右衛門窯」

有田焼の中でも名窯として名高い「香蘭社」「源右衛門窯」によって作られた軸材は有田焼の伝統と芸術性を見事に表現し、重厚感・高級感、そして有田焼の磁器としての特有の磁肌の不思議な手触りはこの2つの名窯の個性が十分に表現されています。

ペン先は日本の万年筆の匠メーカー「セーラー万年筆」社製

ペン先は、日本の万年筆メーカー「セーラー万年筆」社製。セーラー万年筆は、独自のペン先技術により、書きやすさを追求したペン先を生み出し高い評価を受けております。また、軸材にも蒔絵・エポナイトのみならず、黒檀・すす竹・布袋竹など天然素材を使用した万年筆を作り出し、高度な技術力を持ってして日本独自の万年筆を生み出す匠メーカーです。

金属と磁器、その奇跡的な融合を可能に

本来焼成による収縮性のある磁器は、金属など他の素材との接合は難しいものとされてきました。しかし、近年の技術躍進はもちろんですが、それ以上に匠達の業の卓越度がそれを可能にしました。コンマ数ミリの世界と対峙する、常に本物を追及し続けた「香蘭社」「源右衛門窯」「セーラー万年筆」各社の技術力の結集と試行錯誤の末、約2年の歳月を経て「有田焼万年筆」は完成されました。